

【兵庫医科大学 ディプロマポリシー】（抜粋）

兵庫医科大学は、建学の精神に則り、以下の能力を獲得した学生に対して卒業を認定し、学位を授与します。

【建学の精神】

社会の福祉への奉仕、人間への深い愛、人間への幅の広い科学的理解

【ディプロマポリシー（医学部）】

医学部は、所定の単位を修得し、以下の学修成果を修めた学生に対して卒業を認定し、学士（医学）の学位を授与します。

【ディプロマポリシー】 【学修成果】

| 2024要素（12）                                         | 2024細目（32）         | レベルS<br>＜医師（研修修了後）レベル＞                                             | レベルA<br>＜卒業時レベル＞                                          | レベルB<br>＜臨床実習開始前レベル＞                                | レベルC<br>＜2年生修了レベル＞                                  |
|----------------------------------------------------|--------------------|--------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 医師としての使命感を持って、保健衛生や社会福祉の向上に自律的に関与できる。              | 社会福祉               | 地域保健や社会福祉のシステムを理解し、必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応できる。                     | 地域保健や社会福祉のシステムを理解し、必要とする患者とその家族に対して、模範的に対応できる。            | 地域保健や社会福祉のシステムを説明できる。                               | 地域保健や社会福祉のシステムを理解している。                              |
|                                                    | 安心な社会と医療           | 医療の24時間対応と医師の働き方（ワークライフバランス）の取り組みを実践できる。                           | 医療へのかかりやすさ（accessibility）および医師の働き方（ワークライフバランス）の重要性を説明できる。 | 医療へのかかりやすさ（accessibility）の重要性を説明できる。                | 医療へのかかりやすさ（accessibility）の重要性を理解している。               |
| 兵庫県の多様な地域性を理解し、地域医療および予防医学に基づいた行動ができる。             | 地域医療(兵庫県の医療を含む)    | 地域医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応できる。兵庫県の医療に関わる問題について対策を検討できる。          | 地域医療を必要とする患者とその家族に対して、模範的に対応できる。兵庫県の医療に関わる問題について説明できる。    | 地域医療を説明できる。兵庫県の医療に関わる問題を理解している。                     | 地域医療を理解している。兵庫県の医療に関わる問題を知っている。                     |
|                                                    | 予防医学と健康増進          | 予防医療の理念を理解し、地域や臨床の場での実践に参画できる。                                     | 予防医療の理念を説明でき、地域や臨床の場での実践に必要な能力を有している。                     | 予防医療の理念を理解できる。                                      | 生活と疾病予防の関連及び予防接種の重要性を理解している。                        |
|                                                    | プライマリケア            | プライマリケアを実践できる。                                                     | プライマリケアにおいて必要な能力を有している。                                   | プライマリケアを説明できる。                                      | プライマリケアを理解している。                                     |
| 修得した国際性と語学力を活用し、国際保健に積極的に関与できる。                    | 語学力                | 世界的に重要な医学的情報を入手し、海外の研究者・医療関係者とのコミュニケーションを実践できる。外国人患者の英語での診察を実践できる。 | 英文で公表された重要な医学的情報を理解でき、英語での診察に必要な用語が理解できる。                 | 英文で公表された医学的情報を入手し、英語の医学用語を理解できる。                    | 一般的な語学力を有する。                                        |
|                                                    | 国際保健               | 世界における健康の向上及び増進のために、国際機関などの活動に協力できる。                               | 世界における健康の向上及び増進のための国際機関などの活動を説明できる。                       | 世界における健康の向上及び増進のための国際機関などの活動を理解している。                | 世界における健康に関する問題について知っている。                            |
| 社会の仕組みと動静を理解し、支援扶助と社会の発展のために行動できる。                 | 幅広い教養              | 行動科学・社会科学など幅広い教養や健康観を身につけ、死生観、宗教観などに配慮した行動科学的アプローチを実践できる。          | 行動科学・社会科学など幅広い教養や健康観を身につけ、他者に対して文化的・社会的な側面に配慮できる。         | 行動科学・社会科学など幅広い教養や健康観を身につけ、文化的・社会的な側面を理解できる。         | 文化的・社会的な知識を有している。                                   |
|                                                    | 社会と医療              | 医療の持つ社会的側面の重要性を理解し、保健医療法規・制度を理解し、適切に行動できる。                         | 医療の持つ社会的側面の重要性を理解し、保健医療法規・制度を説明できる。                       | 医療の持つ社会的側面の重要性を説明できる。                               | 医療の持つ社会的側面の重要性を理解している。                              |
|                                                    | 健康社会の推進            | 健康な社会づくりに寄与することができる。                                               | 健康な社会づくりに必要な能力を有している。                                     | 健康な社会づくりを説明できる。                                     | 健康な社会づくりを理解している。                                    |
|                                                    | 医療の均てん化            | 医療資源の乏しい地域において医療を実践できる。                                            | 医療資源の乏しい地域における医療を、模範的に実践できる。                              | 医療資源の乏しい地域における医療の問題を説明できる。                          | 医療資源の乏しい地域における医療の問題を理解している。                         |
| 本学への帰属意識を持ち、医師の職責に基づいて行動できる。                       | 職責の自覚（プロフェッショナリズム） | 豊かな人間性を有し、プロフェッショナリズムを実践し、同僚後輩の模範となることができる。                        | 豊かな人間性を有し、プロフェッショナリズムを模範的に実践できる。                          | プロフェッショナリズムを理解し、その実践に必要な豊かな人間性を有している。               | プロフェッショナリズムを理解できる。                                  |
|                                                    | 帰属意識               | それぞれの地域に根をおろし活動するとともに、兵庫医科大学卒業を誇りに感じ、同窓会活動に参加できる。                  | 地域において活動する能力を有している。兵庫医科大学卒業を誇りに感じ、同窓会活動を理解している。           | 兵庫医科大学の建学の精神および社会への貢献について説明でき、誇りに感じている。             | 兵庫医科大学の建学の精神および社会への貢献について知り、誇りに感じている。               |
| 生命の尊厳と医療倫理を遵守し、患者や生活者の視点で権利を守ることができる。              | 生命倫理、患者の権利と生命の尊厳   | 医の倫理、生命倫理について理解し、適切に生命の尊厳と患者の権利を守る行動ができる。                          | 医の倫理、生命倫理について理解し、模範的に生命の尊厳と患者の権利を守る行動ができる。                | 医の倫理、生命倫理について説明できる。                                 | 医の倫理、生命倫理について理解している。                                |
|                                                    | 人生の最終段階における医療      | 人生の最終段階における医療を必要とする患者とその家族に対して、心理社会的側面への配慮ができる。                    | 人生の最終段階における医療を必要とする患者とその家族に対して、心理社会的側面への配慮を模範的に実行できる。     | 人生の最終段階における医療を説明し、患者とその家族への配慮を理解できる。                | 人生の最終段階における医療を理解している。                               |
| コミュニケーション能力を活用して信頼関係を築き、医療に携わる全ての人々と協調・協働することができる。 | 多様性の理解             | 他者を理解し、互いの立場を尊重した人間関係を構築して、多様な人々や団体と積極的に関わることができる。                 | 他者を理解し、互いの立場を尊重した人間関係を構築して、学外の人々や団体と関わることができる。            | 他者を理解し、互いの立場を尊重した人間関係を構築して、学内の人々や団体と関わることができる。      | 他者を理解し、互いの立場を尊重できる。                                 |
|                                                    | チーム医療（多職種連携）       | 医療チームの構成員としての役割を理解し、保健・医療・福祉の幅広い職種からなる他のメンバーと協働できる。                | 医療チームの構成員としての役割を理解し、保健・医療・福祉の幅広い職種からなる他のメンバーと模範的に協働できる。   | 医療チームの構成員としての役割を理解し、保健・医療・福祉の幅広い職種からなるチーム医療を修得している。 | 医療チームの構成員としての役割を理解し、保健・医療・福祉の幅広い職種からなるチーム医療を理解している。 |
|                                                    | コミュニケーション能力        | 上級及び同僚医師や他の医療従事者、関係機関や諸団体の担当者を含め周囲の人々と適切なコミュニケーションをとることができる。       | 指導医や他の医療従事者を含め周囲の人々と適切なコミュニケーションをとることができる。                | 周囲の人々と適切なコミュニケーションをとることができる。                        | 他者の立場を考えて接することができる。                                 |

【兵庫医科大学 ディプロマポリシー】（抜粋）

兵庫医科大学は、建学の精神に則り、以下の能力を獲得した学生に対して卒業を認定し、学位を授与します。

【建学の精神】

社会の福祉への奉仕、人間への深い愛、人間への幅の広い科学的理解

【ディプロマポリシー（医学部）】

医学部は、所定の単位を修得し、以下の学修成果を修めた学生に対して卒業を認定し、学士（医学）の学位を授与します。

【ディプロマポリシー】 【学修成果】

| 2024要素（12）                                              | 2024細目(32)   | レベルS<br>＜医師（研修修了後）レベル＞                                                      | レベルA<br>＜卒業時レベル＞                                                | レベルB<br>＜臨床実習開始前レベル＞                                    | レベルC<br>＜2年生修了レベル＞                    |
|---------------------------------------------------------|--------------|-----------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 患者や生活者の心身の苦痛について理解・共感し、医療に関わる問題に取り組むことができる。             | ハンディキャップ     | 様々な病気や障がいを持つ患者の気持ちや背景を理解し、支援ができる。                                           | 様々な病気や障がいを持つ患者の気持ちや背景を理解し、模擬的に支援ができる。                           | 様々な病気や障がいを持つ患者の気持ちや背景を理解している。                           | 様々な病気や障がいを知っている。                      |
|                                                         | 患者の痛み        | 難治性の痛みを含め、患者の苦痛に対して全人的に対応できる。                                               | 難治性の痛みを含め、患者の苦痛に対して模擬的に対応できる。                                   | 難治性の痛みを含め、患者の苦痛を理解できる。                                  | 患者の苦痛を知っている。                          |
| 科学的探求心を持って生涯にわたり研鑽を続け、他者と共に学ぶ姿勢を維持できる。                  | 科学的探究心       | 臨床研究の意義を理解し、研究や学会活動に積極的に関わることができる。                                          | 臨床研究の意義を理解し、研究や学会活動に関心がある。                                      | 臨床研究の意義を説明できる。                                          | 医学研究を知っている。                           |
|                                                         | 生涯学修         | 自己管理能力を身に付け、生涯にわたり基本的診療能力の向上に努めることができる。                                     | 自己管理能力を身に付け、能動的に基本的診療能力の向上に努めることができる。                           | 自己管理能力を身に付け、能動的に医学を学修できる。                               | 自己管理能力を身に付け、自ら学修できる。                  |
|                                                         | 教育能力         | 医療チームの構成員としての役割を理解し、同僚及び後輩へ教育的配慮ができる。                                       | 医療に関わる者としての役割を理解し、同級生及び後輩へ指導・助言ができる。                            | 同級生へ指導・助言ができる。                                          | 同級生と教え合う態度を養成できる。                     |
| 総合的・科学的に課題を捉えて先端的な情報・科学技術を活用することで、医療および医学研究を最適化する能力がある。 | 臨床推論         | 患者の症状と身体所見、検査所見に基づいた鑑別診断を的確に行うことができる。                                       | 患者の症状と身体所見、検査所見に基づいた鑑別診断を実施できる。                                 | 患者の症状と身体所見、検査所見に基づいた鑑別診断を模擬的に実施できる。                     | 患者の症状と身体所見、検査所見の重要性を理解している。           |
|                                                         | 問題解決能力、ICT活用 | 総合的・科学的に課題を捉えてICTを活用し、臨床上の疑問点を解決するための情報を収集して評価し、当該患者への適応を判断できる（EBMの実践ができる）。 | 総合的・科学的に課題を捉えてICTを活用し、臨床上の疑問点を解決するための情報を収集して評価し、当該患者への適応を検討できる。 | 総合的・科学的に課題を捉えてICTを活用し、臨床上の疑問点を解決するための情報を収集して評価することができる。 | ICTを活用し、疑問点を解決するための情報を収集して評価することができる。 |
| 修得した医療の基本的な技能を活用でき、救急や危機管理に対応できる能力がある。                  | 基本的な診察法      | 病態の正確な把握ができるよう、全身にわたる身体診察を系統的に実施し、記録できる。                                    | 病態の把握ができるよう、身体診察を系統的に実施し、記録できる。                                 | 病態の把握ができるよう、身体診察を実施できる。                                 | 身体診察を見て、内容を理解できる。                     |
|                                                         | 医療技術・検査      | 病態や臨床経過、医療面接、身体診察からの情報をもとに、必要な検査を自ら実践できる。基本的手技の適応を決定し、実施できる。                | 病態や臨床経過、医療面接、身体診察からの情報をもとに、必要な検査および基本的手技を模擬的に実施できる。             | 検査や基本的手技を説明できる。                                         | 検査や基本的手技を知っている。                       |
|                                                         | 救命救急         | 生命や機能的予後に係わる、緊急を要する病態や疾病、外傷に対して適切な対応ができる。ACLSを実践できBLSを指導できる。                | 緊急を要する病態や疾病、外傷に対する適切な対応を説明できる。ACLSおよびBLSを実施できる。                 | 緊急を要する病態や疾病、外傷に対する適切な対応を理解できる。ACLSを理解し、BLSを実施できる。       | 緊急を要する病態を知っている。BLSを理解している。            |
|                                                         | 医療安全         | 患者及び医療従事者にとって安全な医療を遂行し、安全管理の方策を身に付け、危機管理に参画できる。                             | 患者及び医療従事者にとって安全な医療を遂行する能力を有している。安全管理及び危機管理を説明できる。               | 患者及び医療従事者にとって安全な医療を説明できる。安全管理及び危機管理を理解している。             | 患者及び医療従事者にとって安全な医療を理解している。            |
| 良質で安全な医療の実践のために、医師としての基本的な知識がある。                        | 人体の構造・機能     | 人体構造・機能を理解したうえで、質の高い医療を実践できる。                                               | 人体構造・機能を理解したうえで、質の高い医療を模擬的に実践できる。                               | 人体構造・機能を理解したうえで、適切な医療を説明できる。                            | 人体構造・機能を理解している。                       |
|                                                         | 原因・病態        | 各疾患の病因・病態の知識をもとに、適切な医療を実践できる。                                               | 各疾患の病因・病態の知識をもとに、適切な医療を模擬的に実践できる。                               | 各疾患の病因・病態を説明できる。                                        | 疾患につながる病態生理の基本を理解している。                |
|                                                         | 診断・治療        | 基本的治療法の適応を決定し、適切に実施できる。                                                     | 基本的治療法の適応を決定し、実施に必要な能力を有している。                                   | 基本的治療法を説明できる。                                           | 治療につながる病態生理の基本を理解している。                |